

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策(松江市全体～小学校・義務教育学校前期課程)

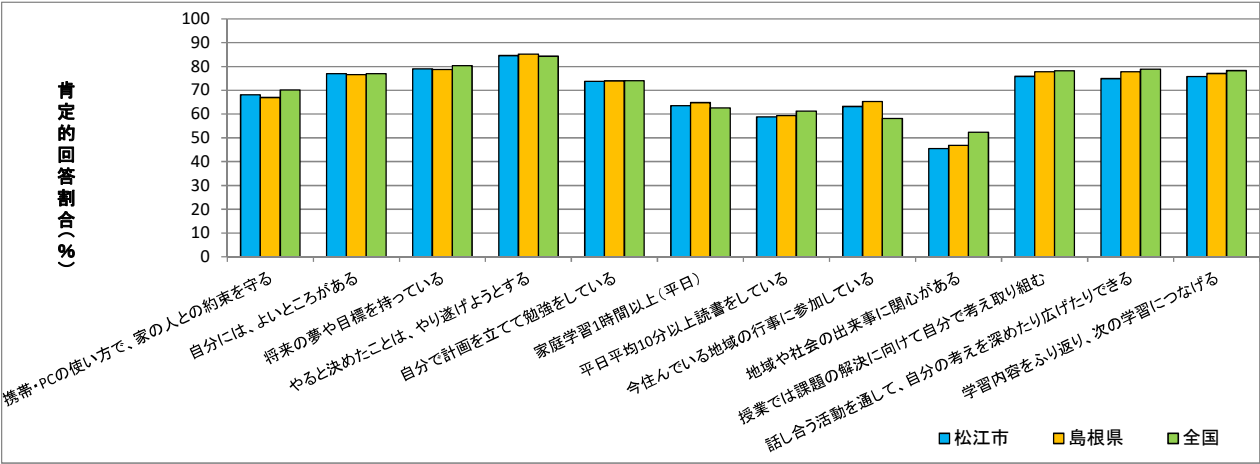
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対 策
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことや、思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと。 ○目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること。 ●目的を意識し中心となる語や文を見つけて要約すること。 ●自分の主張が明確に伝わるように文章全体の構成や展開を考えること。	・語句や熟語の意味理解と並行して、それらを日常生活の中で適切に使ったり、文脈の中でどのような意味で用いられているかを考えたりするような指導の充実。 ・書く意図や目的に応じて、条件を設定して自分の考えを書く学習場面の設定と指導の工夫。 ・主語と述語との関係、修飾語と被修飾語の関係に留意して文を整えることが、自分の思いや考えを正確に伝える上で重要であることが関連付けられるような指導の充実。
算数	○「数と計算」領域の、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること。 ○「変化と関係」領域の。速さと道のりをもとに時間を求める問題の立式をすること。 ●「図形」領域の面積の求め方についての理解や、それを記述すること。 ●集団の特徴を捉えるためにどのようなデータを集めるべきかを判断したり、問われている状況を日常生活と結びつけて考えたりすること。	・図形を構成する要素などに着目して必要な情報を選び出すことができるよう、具体的な操作を伴う活動や図や式などを用いて表現し、伝え合う学習の充実。 ・身の回りの事象について、データに基づいて考察することができるような場面や学習機会の充実。 ・TTによる指導や少人数指導を効果的に活用し、少人数担当と学級担任で情報交換や共通理解を積極的に行うことによる個に応じた指導の充実。

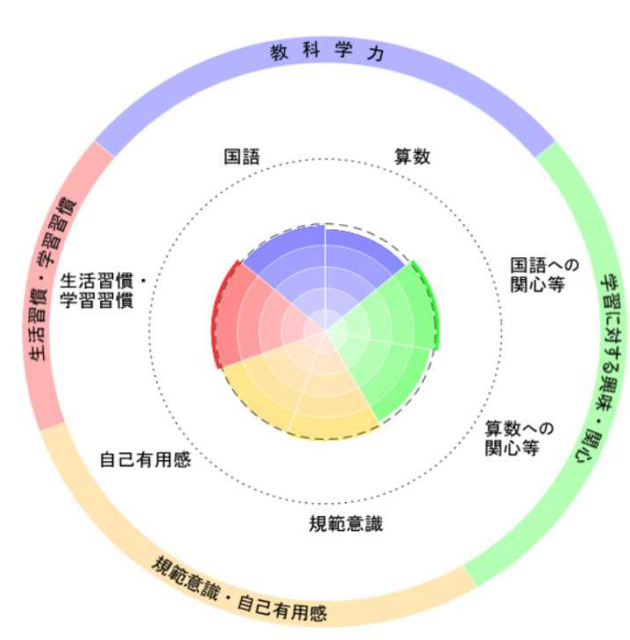
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対 策
	○新聞に親しむ児童の割合が全国平均値に比べて高いこと。 ○「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣が定着しつつあること。 ●自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを創り出す活動や、地域をよくするために考えたりする活動が十分でない。 ●学習の必要性や話し合うことの大切は感じているが、目的に応じた話し合いや考えを広げる学習の機会が少ない。	・小学生向けの新聞などをさらに活用し、新聞づくりなどをとおして表現力も身に付けさせること。 ・総合的な学習の時間などで探究的な学習を進め、「まとめ・表現」の場面をさらに充実させること。

(3)意識調査の結果(学力との相関が指摘されているものや、松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



【参考】平均正答率(%)

	松江市	島根県	全国
国語	64	63	64.7
算数	68	67	70.2

【受検者数】1719 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。